

森林環境譲与税に関する決算状況一覧（令和4年度）

市町村名	事業区分	事業名	事業費総額（千円）			事業内容	実績	事業効果 税導入の効果（総括）	
			内当該年度の森林環境譲与税（千円）	内基金取り崩額（千円）	内他の財源（千円）				
大口町	木造公共建築物の整備等	道路整備事業	63,419	2,830	0	60,589	町制施行60周年の記念事業の一環として、周辺の公共施設への往来を容易にし、歩行者の利便性の向上を図ることを目的として、木製橋りょう（花見橋）の建設を行った。	木橋（上部構造部材）の新設	<p>【ワンフレーズ】 公共施設を繋ぎ、多くの住民が利用する歩道橋の木材利用の促進において、「森林環境譲与税」を財源として活用することができた。</p> <p>【詳細】 当該木橋（花見橋）は、役場からオークマグラウンド・健康文化センターの動線途中にあり、本町を横断する一級河川五条川の渡河部に建設した。五条川堤の桜並木を活かしつつ、通りゆく人たちがぬくもりと安らぎを感じられるよう、また大口町の新たな観光名所となるような桜等の眺望を踏まえたデザインの橋梁にした。今後、この「森林環境譲与税」を公共施設の木造化の財源の1つとして活用していく</p>

大口町では、公共施設の新改築に当たっては脱酸素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律(平成22年法律第36号)を受けて、当町も令和4年12月1日に「大口町建築物等における木材の利用の促進に関する方針」を改正した。

- ▶ 当該橋りょうは、役場から総合運動場までの動線途中にあり、本町を縦断する一級河川 五条川の渡河部に建設する。また、五条川沿線（尾北自然歩道）では、桜並木を楽しむことができ、多くの方々に利用されている。
- ▶ このような住民の方が集まる施設に木材を利用することで、森林環境譲与税の目的である木材利用促進並びに普及啓発に広くPRができると考える。

■ 事業内容

公共施設の木質化事業

町制施行60周年の記念事業の一環として、周辺の公共施設への往来を容易にし、歩行者の利便性の向上を図ることを目的として、木製橋りょう(花見橋)の建設を行った。

【事業費】 63,419千円（うち譲与税2,830千円）

【整備内容】 木橋(花見橋) 1橋

【実績】 木橋（上部構造部材）

木材使用量 23.0m³

（内10.4m³：あいち認証材）



■ 事業スキーム

木材

発注・引渡

愛知県

⇔

事業者

⇔

大口町

■ 工夫・留意した点

- ・ 五条川堤の桜並木を活かしつつ、通りゆく人たちが温もりと安らぎを感じられるよう、また大口町の新たな観光名所となるよう桜等の眺望を踏まえたデザインの木製の橋りょうにした。
- ・ あいち認証材を利用することで、県産木材の利用促進や普及啓発を図ることができた。

■ 基礎データ

①令和4年度譲与額	2,830千円
②私有林人工林面積(※1)	0ha
③林野率(※2)	0%
④人口(※3)	24,305人
⑤林業就業者数(※4)	2人

※1、2：「2020農林業センサス」より、※3、4：「R2国勢調査」より、